

## 鳥獣被害対策について（その3）

（平成27年7月31日）



### イノシシの被害状況と 対策について

福島県農林水産部農業振興課

## 1 被害状況

イノシシは、現在、県内で農作物被害の最も多い獣です。平成25年度の被害金額は75,013千円で、獣類被害に占める割合は67.0%となっています。被害面積は、160.8haあり、獣類全体の76.8%を占めています。作物別では水稻が最も多く52.7%を占め、次いでいも類が12.9%となっています。平成21年度の被害割合は、金額で58.0%、面積で45.0%であり、大きく増加しています。

農作物被害は、県南地方、会津地方、南会津地方などの一部市町村を除いて広く発生しており、被害域は年々拡大しています（図1）。



図1 イノシシによる農作物等被害発生の状況（環境保全農業課とりまとめ）

## 2 生息域

かつては、阿武隈川以東に多く生息していましたが、平成16年の調査で阿武隈川以西でも局所的に生息が報告されています。現在では、会津でも確認されており、県内に広く拡大しています。

捕獲数は、平成25年度11,087頭で、平成10年度の10.4倍となっています。捕獲の多い地域は、阿武隈高地で、阿武隈川以西においては捕獲数は多くないものの、中通りではほぼすべての市町村で、会津でも多くの市町村で捕獲されています。これまででは積雪深30cm以上が70日以上の地域での生息が難しいといわれてきましたが、現在では会津の豪雪地帯で冬期間捕獲されています。

### 3 生態や特性

#### (1) 食性

- ・植物中心の雑食性で、人間が食べるもののほとんどを食べることができます。

#### (2) 繁殖

- ・満二歳で初産。年1回の繁殖。交尾期は12～2月ごろ、出産期は4～6月ごろ。

- ・平均4～5頭と多産。平均寿命はオス約6歳、メス約10歳。

#### (3) 行動

- ・昼夜を問わず活動します（夜行性ではありません）。

- ・成獣のオスは単独行動、成獣のメスと幼獣は群れを作ります。

- ・行動範囲は基本的に狭く、被害を与える個体はその周辺に生息しています。

- ・学習能力は高く、一度おいしいものを食べるとその場所を覚えてしまいます。

- ・運動能力は高く、1mぐらいの柵は飛び越えます。よじ登ることができれば2mぐらいの高さも乗り越えます。

- ・上を越えるより下を通り抜けようとします。幼獣は15cmの格子、成獣は20cmの隙間をくぐり抜けます（足をけがすることは致命傷のため、容易には飛び越えません）。

- ・本来警戒心が強く、臆病で注意深いですが、いったん慣れると大胆な行動をします。

- ・人前には簡単に姿は現しません。

#### (4) その他

- ・犬並みの嗅覚を持ち、臭いに敏感です。

- ・鼻は臭いを嗅ぐだけではなく、土を掘ったり、障害物を動かす時にも使います。50～60kg程度の重さを押し動かすことも可能です。体の中で唯一電気刺激に弱い箇所です。

- ・体毛は剛毛で、電気柵に触れても驚きません。

- ・泳ぐこともできます。

### 4 対策

被害を軽減するには、集落・農地管理（被害防除）、生息環境管理、個体数管理の3つを、集落環境診断の実施などにより地域の実情を正しく理解しバランスよく実施することが重要です。

#### (1) 餌をなくす。

イノシシをはじめ獣が出没するのは餌があるからです。販売目的の農産物だけでなく、収穫残渣、生ゴミなども魅力のある餌です。集落周辺にはイノシシを誘引する「無意識」に置かれた餌がたくさんあり、これをなくさない限り集落周辺に住み続けることになります。

#### (2) 隠れ場所を減らす。

見通しの悪い藪や茂み、耕作放棄地は安心して農地に近づける要因になります。農地周辺に隠れ場所があると農作物に執着し、被害も大きくなります。

#### (3) 正しく囲う。

被害軽減効果が高い電気さく、トタン、ワイヤーメッシュなどを活用した防護柵により、農地を物理的に囲い侵入を防ぎます。

#### (4) 正しく捕獲する。

『山中の10頭より里の1頭』というように、集落周辺を餌場にしている個体を捕獲することが重要です。

なお、被害獣種を判断するための足跡や各種防護柵設置については、【改訂版】野生鳥獣被害防止マニュアル－イノシシ、シカ、サル（実践編）－平成26年3月版（鳥獣被害対策基盤支援委員会編）を参考にしてください。

URL:[http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/h\\_manual/h26\\_03/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/h_manual/h26_03/index.html)

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7339

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧いただけます。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧いただけます。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>